



平成19年2月

第76号

ながい市議会だより



おはようゲート あいさつ運動の一步!!

ゲートをくぐった瞬間、大きな声でさやかにあいさつしよう!

南中がめざすあいさつ「会った瞬間に、大きな声で、さやかに」生徒会が提案した活動です。南中自慢のひとつ「誰にでもあいさつが出来るようになった」が、今年度一時悪くなりましたが、このゲートに象徴される生徒会リーダーのおかげで、新たな自慢が出来ました。

南中のあいさつ運動の新しい一歩がスタートしました。

いきいき
南中学生徒会

おもな内容	ページ
*議会の動き……………	2～3
*一般質問……………	4～6
*予算特別委員会……………	7
*常任委員会の焦点……………	8～9
*ながいの元気印……………	11
*傍聴席……………	12

新年明けましておめでとうございます

公職選挙法は、議員や政治家が選挙区内の住民に答礼のための自筆による除いて、年賀状を出すことを禁じています。法を遵守し、紙面により年賀のご挨拶とさせていただきます。

長井市議会

「夕張市」市民手づくりの 成人祭に学ぶ

議長 大沼 久
副議長 蒲生光男

632億円の借金を抱えて財政破綻した夕張市で、7日市民手づくりの成人祭が開かれ、全国の人達に感動を与えました。

夕張市の今年の成人祭の予算はゼロ、昨年の繰越金が1万円あるだけの中で、実行委員長の土屋美樹さんは、アルバイト先に募金をお願いし、市民も自主的に募金活動、テレビで夕張市のニュースを見た全国の多くの人達から善意の寄付金など実に200万円を超える金額が寄せられました。

今年成人祭に要した費用は20万円ほど、残りは来年に繰り越すという。財政破綻して、市民負担が増す中、市民サービスは全国一低い水準になる。

逆行の中で美樹さんたちは、成人祭のテーマを「ありがとう」に決め、見事に成功させました。

行政に市民参加が必要な時代、夕張市の「市民手づくりの成人祭」は大いに学ぶべきものだと感じました。

厚生常任委員会



鳥谷政一 鈴木小市 小関勝助
蒲生吉夫 ◎佐々木謙二 ○谷口栄子 蒲生光男

総務・文教常任委員会



我妻 昇 鈴木武次 鈴木新助
○高橋孝夫 ◎安部 隆 大沼 久

産業・建設常任委員会



藤原民夫 鈴木良雄 ○渋谷佐輔
島田友市 ◎町田義昭 佐々木榮七

◎委員長 ○副委員長



12月定例会

平成18年12月定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の日程で開催されました。

定例会では、議案第77号「長井市長寿祝金支給に関する条例の一部改正」を全員一致で否決、その他一般議案9件、一般会計及び特別会計補正予算3件を可決しました。また、請願1件、追加上程された議案案3件も可決しました。

補正予算を可決

長寿祝金改正案を否決

本定例会に提案された一般会計補正予算案は、予算の総額に8580万8千円を追加するものです。

その主な内容は、人件費関係では、今年度途中で辞職した市議会議員2名分の議員報酬等649万2千円などを減額、一般職員の時間外手当2002万6千円が増額されました。

福祉関係では、知的障がい者や身体障がい者の生活支援に係る扶助費として1746

万6千円、平成17年度分の知的障がい者や身体障がい者、生活保護に係る国庫補助負担事業費の精算に伴う国庫返還金1119万2千円などが増額されています。

商工関係では、民間が主体となつて設置する「住民参加型まちづくりファンド」に拠出金3千万円が増額されました。土木関係では、現在進めている「まちづくり交



オペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」

付金事業」の事業内容変更などに伴う事業費の組み替えのほか、市道花作平山線の改良工事に伴う損失補償費340万円などが増額されました。教育関係では、10月に公演されたオペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」の実施に対して市民の方々からいただいた寄附金で、実行委員会への委託料40万円などが増額されています。

一般会計補正予算案は、予算特別委員会、本会議とも全員一致で可決しました。

支給直前の減額

納得得られぬ

「長井市長寿祝金支給に関する条例の一部改正」は、数え年100歳の方に贈呈している長寿祝金の額を10万円から1万円に変更するもので、平成19年1月から実施したいと説明がありました。

敬老思想の高揚
昭和60年条例設定

長寿祝金制度については、昭和60年度に高齢者の福祉の向上と敬老思想の高揚を図る目的で設定され、当時数え100歳の方には30万円を贈呈していました。平成12年度に支給金額の改正がなされ、100歳の方には10万円を贈呈することとして現在に至っております。

厚生常任委員会では、現在の予算額と、数え100歳の方の長寿祝金が現行の10万円のままとした場合の差額はいくらになるかとの質疑があり、

福祉事務所長から、当初予算では100歳の方は13人分と見込み13万円であり、88歳の方の分を188万円と見込んでいたが、88歳の分が175万円に減ったため、その余った分を充当すれば差引64万円の不足になるとの答弁を受けました。

採決にあたり、長寿祝金は長年にわたり長井市のために貢献していただいた方々への慰労の意からも、減額するべきではないとの一致した意見から、全員一致で否決と決定いたしました。

議員辞職について

内谷重治議員から平成18年9月30日付けで、大道寺信議員から10月5日付けで議員辞職願が提出され、地方自治法の規定によって同日付で議長において許可されました。

市政に対する 一般質問

12月定例会では4名の議員が市政全般にわたる質問を行いました。その概要をお知らせいたします。

なお、質問の文章は各議員が要約して執筆し、答弁は当局がまとめたものです。また、文中のQ.は議員からの質問、A.は当局からの答弁となります。

子供の健全な育成のために



渋谷 佐輔 議員

答弁

「いじめ」は絶対許さない

Q 最近「いじめ」による児童生徒の自殺が問題視されています。市内の教育現場では「いじめ」の実態を確認されているのか。経過と結果を伺います。

A 各小・中学校で実態調査をもとに個別相談をしたところ、2校で「いじめ」が確認されましたが、現在は解決、または解決の方向に向かっていきます。

Q 「いじめ」の背景は、学校だけでなく、社会の流れと意識の変化により、祖国日本の古き良き伝統ある教育が崩壊したことです。家庭でも学校でも、幼少期から「日本型し

つけ」である道徳・情緒・修身といったことを再認識し、教育の課程を含め見直し検証しながら教えていく必要があるのではないですか。

命を大切にする教育は、学校だけでなく家庭・地域の役割も大きい。すべてを網羅した「ながい・教育のまち宣言」をして啓蒙すべきではないですか。

A 「いじめ」は絶対許さない、大人が守ってやるという強い姿勢を子ども達に発信することが大切なことだと思います。幼児期から家庭の中で教えていくことは極めて大事なことでと思います。また、い

じめや自殺を防ぐには、行動の変化、心の変化にいち早く気がつく大人の目が必要です。

Q 目黒市政8年間の行政施策の中で、学校教育・生涯教育の環境づくりについてどのように総括しておられるか。また、最近の「いじめ」防止など、こども教育のあり方について所見を伺います。

A 基礎的学力、基礎的体力、本物に触れる感性を磨く教育に積極的に取り組み、成果があったと考えています。



蒲生 吉夫 議員

市長退職金2500万円の

返上は可能か

答弁

退職金の返上は不可能ではないと認識

Q 市長選挙で4人の候補者というのは市政で初めての事

で、まちづくりの政策を掲げて闘われた意義は大きいと思



親子でスキー教室



土曜らんど「中華チマキ作り」
(致芳小)

います。惜しくも落選した3人もいづれ劣らぬ長井を愛する情熱の持ち主であり、まちづくりにお力をお貸しいただけるものと思います。

市長が応援した候補者の政策の中で、「市長退職金2500万円を返上します」とありますが、現在の法体系からみて「返上」は可能でしょうか。

A・市長退職金の返上について多くの問い合わせが寄せられたため、市が加入している山形県市町村職員退職手当組合事務局で総務省に照会したところ、「市長退職金の返上は

想定外の事項で、判断は難しいが全く不可能ということではない」旨の回答だったと聞いています。

Q 9月定例議会で、学童クラブ、放課後児童クラブについて議論があり、現在の土曜らんどを放課後全員対象に毎日実施するようになる、とのとらえ方をしましたが、その後のように準備されていますか。

事業のスタッフ、学習アドバイザー、ボランティア、安全管理委員などの配置と費用負担をどうするか。

また、長井小学校を除く周辺部学区低学年児童のスクーリングの配車体制をどうするかについてお聞かせ下さい。

A 放課後子供プランの県の説明会の後、福祉事務所と対応を協議しました。その結果、平成19年度以降、学童保育はより充実した内容で実施し、放課後子ども教室は、土曜らんど事業を拡充することとしました。

尚、参加児童の対応は今後の検討課題と考えています。



高橋孝夫 議員

今、なぜ、長寿祝金削減か

答弁

高齢者へ敬意を表しながらも
施策の見直しは必要

Q 今定例会に、これまで数え年100歳の者に10万円の祝金を支給していたものを、今年度から1万円に削減するという条例改正が提案されています。毎年1月に数え年100歳と88歳になられた皆さんに祝金を支給していたわけですが、その支給月である1月を翌月に控えた議会に削減の提案をすることはあまりにも急であり理解できません。

長寿祝金支給条例は、昭和60年に「高齢者の長寿を祝い敬老思想の啓蒙を図り、高齢者の福祉の向上に資する」という目的で、8段階の年齢に応じて支給するために設定さ

れたもので、その後平成11年に77歳、80歳、85歳、90歳、99歳への支給が廃止されたものの、今日まで21年間続いてきたものです。18年度の施政方針にも『長寿祝金削減』という内容はありませんし、逆に「市民の福祉が後退しないよう配慮して予算編成した」と明言しています。なぜ削減するか、代替案はあるか、総合的な施策はどうか、伺います。

A 本市の高齢化率は、全国平均より7%上回る27・5%であることはご指摘のとおりです。一人暮らしの高齢者への支援、介護、老老介護世帯へ

の支援など、課題は山積しています。今後の増え続ける福祉をどうしていくかを考えれば、長生きされた皆さんに敬意を表しつつも、これまでの政策を見直すことも必要であるかと判断したものです。

代替案としては、様々な支援メニュー、介護予防策等の中から取捨選択して、それらへの財源に充てていきたいと考えています。

総合的な施策を展開するための窓口一本化の検討は、当然のことと思います。



年忘れ芸能大会で熱演



藤原 民夫 議員

後期高齢者医療の 危険な内容について

答弁
独立した医療制度を
創設するもの

Q：後期高齢者医療広域連合についてお尋ねします。

2008年4月から、75歳以上を対象とした「後期高齢者医療制度」が創設されます。同制度は、75歳以上の高齢者を、これまで加入していた国民健康保険などから切り離し、独立させた新たな保険です。後期高齢者の医療費が増えれば、後期高齢者の保険料の値上げにつながる仕組みになっています。

さらに、厚生労働省は、「高齢者の心身の特性などにふさわしい診療報酬体系を構築する」としており、診療報酬を引き下げ、「安上がり」医療

をもたらす危険が指摘されております。保険料は、家族か

らの扶養者も含め、すべての後期高齢者から徴収し、保険料の滞納者には国保と同じく「短期証」や「資格証明書」などを発行する「保険証取り上げ」の仕組みも盛り込まれています。こうした他世代との「別建て」への不安の中スタートすることについて、わかり易く答弁いただきたい。

A：急速な高齢化と増大する医療費を支えるため、財政運営の明確化、広域化及び安定化を図る必要があります。このため、75歳を境に入院が増えるなど心身特性、生活実態

が若い世代と異なる75歳以上の高齢者を対象に、独立した医療制度を創設するものです。財源は、保険料1割、現役世代からの支援金4割及び公費5割となり、保険料の徴収は市町村が行い、財政運営は県内全市町村が加入する広域連合が行います。

これは医療制度ですので、公平と制度に対する信頼を維持するため、保険料滞納者には、短期証や資格証明書を発行することとなっています。

平成18年度 一般会計補正予算の主な内容

(単位:千円)

【歳入】

○身体障がい者・知的障がい者支援国庫負担金	7,370
○身体障がい者・知的障がい者支援事業国庫補助金	1,446
○身体障がい者・知的障がい者支援県負担金	2,065
○市民文化会館自主事業寄付金	400
○マイクロマウス技術振興支援寄付金	500
○平成17年度置賜広域病院組合負担金精算金	68,910
○市債	2,900

【歳出】

○議会費	△6,492
○職員時間外手当	20,000
○市税等還付金	2,700
○社会福祉協議会運営費補助金	1,756
○身体障がい者・知的障がい者支援費	17,466
○山形県後期高齢者医療広域連合設立準備委員会負担金	1,089
○中央児童センター保育等業務委託料	1,279
○清水保育園屋根補修工事費	1,261
○平成17年度生活保護措置費国庫負担金返還金	6,583
○一般廃棄物、空瓶等収集委託料	△1,520
○住民参加型まちづくりファンド拠出金	30,000
○マイクロマウス技術振興補助金	500
○用地調査・測量設計等業務委託料	2,400
○道路新設改良に伴う補償費	3,400
○河川整備工事費	13,232
○都市整備工事費	21,669



慈光園で開催された餅つき



総括質疑

まちづくりファンド の具体的な内容は

蒲生吉夫委員 住民参加型まちづくりファンドは、市、住民・企業からの拠出金、(財)民間都市開発機構それぞれから3千万円拠出し基金を構成するようですが、住民・企業から集まらなかった場合でも「民都」から3千万円の拠出が

あります。

齋藤理喜夫商工観光課長 「民都」の要綱では二つの系統があり、市の金額と同額を拠出するということ、民間側と市側の足した金額の半分のどちらか低い方の額で拠出するという条件があります。

委員 金額を取り崩し、4千万円でのあら町周辺の蔵の改修等のハード事業は、具体的にどこをいつ実施するのか、5千万円での10年間のソフト事業は、誰がどのようにに実施

するのですか。議決すれば、議会の手を離れることになり明らかにすべきです。

商工観光課長 民間都市開発機構からの3千万円は、基本的にハード事業を対象にしています。神奈川大学教授を中心に構造物の調査を行なっており、件数、事業費を積算しています。ソフト事業は、各種イベントや商品開発、技術開発、販路拡大等の支援を考えています。

基金管理等の運営 主体は

高橋孝夫委員 まちづくりファンドという基金を地場産業振興センターに置くことになりませんが、地場産業振興センターの職員が基金管理業務を担うことは大変な負担になると考えます。併せて、地場産業振興センターへの運営費補助金が増えていくのではありませんかと考えられます。

齋藤理喜夫商工観光課長 この間の経過や今後の基金の効率的な展開を考えると、市と商工会議所、地場産業振興セ

ンターで事務局体制を作っていくことを考えています。市からは、商工観光課はもちろん、まちづくり交付金事業担当や企画部門等を考えていますが、最終的な確認はしていません。運営費補助の増加は基本的に考えないという方針です。あくまでも、一般の事務、運営費補助の中で対応したいと考えています。

委員 こういった事業は、当初予算で掲げるのが一般的です。大変な財政の状況を見れば、新たな3千万円の支出は負担です。なぜ、今、立上げなければならないのですか。

目黒栄樹市長 民間都市開発機構や民間の方の協力が得られるのならば、早い方がいいし、今だと判断しました。

細部審査

公共工事に伴う

騒音補償は 慎重に対応を

佐々木謙二委員 市道の拡幅改修工事に伴う騒音等の被害

で肉牛の生育不良に対する損失補償340万円が計上されているということです。この補償は、今後の公共工事に波及するのではないかと、また、不平等になるのではないかと心配です。この事例が、公共事業を進める上での大きな問題点を含んでいるし、慎重に取り扱っていく必要があると思います。

浅野敏明建設課長 基本的に工事に伴う騒音等の損失責任はないと思います。しかし今回は、肉牛の販売で歴然たる違いが発生したことが米沢食肉公社の資料で明らかになり、騒音での影響度合いから見ても、損失が社会生活上受忍の範囲を超えていると判断しました。今後は、事前に牛を移動していただくとか、承諾書を取り交わすとか、ルートを変更する等慎重に取り扱ってまいります。

目黒栄樹市長 これは、他に拡大しないようにくぎを刺したところですか。慎重な取り扱いをしなければならぬと思います。

常任委員会の 焦点

主な審査結果など

総務 文教

「行政手続等における情報

通信の技術の利用に関する条

例」は、平成19年3月1日から県内35市町村で一斉にスタートする電子申請システムを当市でも定めるためのものです。

このシステムを利用すれば市に係わる各種申請・届出などの手続きが、インターネットの使用により24時間可能と

なり、住民サービスの向上や行政効率を図ることが出来るようになります。

質疑では、住民票・戸籍・証明書など約100項目の手続きについて検討中であることや、インターネットへの接続・住基カードを読み取る機器購入などで経済効果が期待できる事、普及には相当の努力が必要である事などが話し合われ、全員一致で可決しました。

厚生

「山形県後期高齢者広域連

合の設立について」は、満75歳以上の後期高齢者に関する広域連合を設立するためのものです。

これまでの老人医療と県内全市町村で組織する広域連合を比較すると、国民健康保険税収入は減るものの老人医療への拠出金や葬祭費の減少な

どにより、収入減を上回る支出減となる見込みです。全員一致で可決しました。

「置賜広域病院組合規約の一部変更について」は、収入役を廃止し会計管理者を置く等、全員一致で可決しました。
「地域生活支援事業負担金徴収条例の設定について」は、障がい者自立支援法における地域生活支援事業のうち、日中一時支援事業に係る負担金の徴収について定めるためのものです。

短期入所における宿泊は利用者負担を10%と国が決めています。日帰りについては、地域生活支援事業による給付となり、市町村で設定します。これを当市では5%とするものです。全員一致で可決しました。

「長寿祝金支給に関する条例の一部改正について」は、長寿祝金の支給額のうち数え年100歳の方の額を10万円から1万円に変更するものです。全員一致で可決しました。

「保育所設置条例を廃止する条例について」

は、清水保育園を長井市社会福祉協議会に移管するためのものです。

質疑の中で、当初の保育計画とずれている点が指摘されましたが、児童センターについては認可保育園でもなく、移管する受け皿も難しいことから計画の見直しを検討したい、との説明がありました。また、19年度の保育職員数についての質疑では、実際に配置できる正職員数26名に対し全体で34名の保育士が必要なので、8名の定時補助職員が必要になるとの答弁がありました。

討論では、状況が変化しているにもかかわらず、保育計画の見直しが必要とされている



清水保育園 カルタ遊び

問題で、今回の移管について性急すぎるので反対という意見が出されました。また、定時補助職員を採用せざるを得ない状況になったことから、その身のあり方について十分な対策をとる事と、地域に密着している児童センターの職員配置を整理する事を要望し、賛成するとの意見が出され、賛成多数で可決しました。

産業 建設



伊佐沢公民館 子どもたちとだんご下げ

め、2年間延長するものです。3～4年後をめどに進出したということであり、全員一致で可決しました。

「誘致企業基金条例の一部改正」については、指定誘致企業の立地に伴う経費を基金として、延長保管するためのものです。現在の条例は平成18年12月28日で失効しますが、日鍛バルブ株式会社がこの時期までに進出不可能のた

「下水道条例及び集落排水処理施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正」については、消費税法の一部改正に伴うもので、19年4月1日より、使用料が消費税総額表示に改正、義務化されます。利用者へ丁寧な説明をするよう要望があり、全員一致で可決しました。

「水道事業給水条例の一部改正」は消費税法

の一部改正に伴うもので、前述の条例と同様、全員一致で可決されました。

「長井市木材製品利用住宅建築奨励助成金制度の創設についての請願」

県内産木材の

活用（地産・地消）による住宅産業、並びに林業の活性化、環境の改善を図るため、長井市民が地元産木材を市内の建築業者に依頼したとき、長井市独自の「木材製品利用住宅建築奨励助成金制度」の創設を願うものです。県土の山林の環境保全を目的とした新税創設の動きもあり、地元産の木材の利用により、荒廃しつつある環境の改善や地域の活性化、経済効果が大きいと考えられます。また、近隣の小国町、飯豊町も制度化していることから、全員一致で採択しました。

請願

採択

●長井市木材製品利用住宅建築奨励助成金制度の創設についての請願（請願者代表 置賜「地材地住」ネットワーク会長 磯部庸徳）

意見書

「療養病床の廃止・削減計画の中止を求める意見書」

先の国会で成立した医療制度改革関連法によって療養病床が約6割削減されるとともに、療養病床入院患者の入院基本料が大幅に引き下げられました。それにより医療機関が経営破綻に追い込まれ、どこにも行き場の無い「医療難民」や「介護難民」があふれる状況が懸念されます。

よって医療病床の廃止・削減計画の中止を政府関係機関に求めます。

「リハビリテーション日数制限の撤廃を求める意見書」
18年4月の診療報酬改定においてリハビリテーションに日数制限が設けられま

したが、リハビリを打ち切られたことにより状態が悪化したり、短期間で状態が改善されなくても数年をかけて機能向上する人もいることから、十分なりハビリを提供できるように日数制限の撤廃を政府関係機関に求めます。

「医師・看護職員確保対策の充実を求める意見書」

高齢化社会を迎え、医療・介護・福祉の充実が求められています。医師、看護職員の不足が生じ、その要求にこたえることが難しくなっています。

ただし、質の高い医療と安全で安心できる看護や介護を受けられるよう医師・看護職員確保対策の充実強化を政府関係機関に求めます。

まちづくり基金の 主な支援対象事業

基金の主な支援対象事業

市民団体や事業者等が行う事業を支援の対象とします。

既存の補助事業等と調整するもので、詳細は、長井まちづくり基金助成審査会等で検討します。

〔まちづくり活動助成分野〕

①団体育成部門

まちづくりに向けて、活動の第一歩を踏み出そうとする団体に対する助成。

◆活動の例

・〇〇マップ作成事業などの住みよいまちづくりを目指した調査活動

②まちづくり活動発展部門

まちづくり活動をより積極的に展開しようとする市民主体の活動に対する助成。

◆活動の例

・公共施設用地や空き地などを花いっぱいにするなどの公益的な活動やイベント

〔景観保全・創造助成分野〕

本市の歴史的景観を構成してきた建造物の改修及びその周辺環境の整備など、地域の活性化や街中観光の進展に資する事業を支援対象。

◆事業の例

①建造物等を、市民向け等に開放して、新たな利活用を図ろうとする事業。

②市内に点在する資源の連携を図る目的で、堀、生垣、オブジェ等の新たな景観創造事業。

③損壊等が著しく、個人等の負担による改修が困難な歴史的建造物の改修事業。

〔産業活性化・観光交流分野〕

的建造物の改修事業。

地域産業の活性化に向けて、新規創業や観光交流事業、商品開発等を行う事業を対象とします。

◆事業の例

①市民団体や事業者等が連携して行うイベントなどの集客事業、外部への情報発信事業。

②市民や市民団体が、チャレンジショップを開店するなどの新規創業事業。

③事業者等の連携による商品、特産品の開発に資する事業。

討論

●「山形県後期高齢者医療広域連合の設立」に反対 (藤原民夫議員)

後期高齢者医療制度は、現在の老人保健制度を廃止した上で平成20年4月から新設する制度ですが、保険料はすべての75歳以上の高齢者から年金天引きで徴収する

ばかりでなく、滞納者に対するペナルティーをも課す仕組みです。その制度の運営主体となるのが広域連合で、首長や議会議長などで構成され、住民の参加が出来ない組織となります。よって、広域連合議会には後期高齢者の意思反映や情報公開を強く要望し、設立に反対します。

●「保育所設置条例を廃止する条例の設定」に反対 (高橋孝夫議員)

公立の認可保育施設を持たなくするこの条例は、行政の責任を回避・転嫁することであり、子育て支援策の充実が言われる状況下において理解できません。また、サービス向上を求める声や移管するメリットへの疑問、説明不足に対する不満

など、アンケートに書かれた父母の苦悩に答えていません。さらに、当初の保育計画から大きく逸脱した委託方法や職員体制など、今後の展望が不確定な中で廃止ばかりが先行する事態を容認できません。よって、保育所を廃止する条例の設定に反対します。

臨時議会を開催

平成18年12月26日市議会臨時会が開催されました。提出された議案等の議決結果は次のとおりです。

議案第85号 長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、

市長、助役の給料を20%削減する内容で全員一致で可決しました。

議案第86号 平成18年度長井市一般会計補正予算第5号は、長寿祝金の不足額を補正する内容等で全員一致で可決しました。



今回で4年目となる市民でつくるお祭りながい雪灯り回廊まつり

ながいの 元気印

第7回 西根地区公民館

人づくりは地域教育から “西風にのせて”

輝かしい新年を迎え市民の皆さんには新たな希望を抱いてスタートとされた事とお慶び申し上げます。今日は西根地区公民館（地域活動）を紹介します。

豊かな自然、明るい未来、 みんなでつくる 住みよい郷土！

これは西根地区の振興目標であります。年々減少する人口、特に少子高齢化は確実に公民館、地域活動に影響が始めています。現状と課題を明確にとらえ、重点目標を示すことにより、地域のみなさんが何を成すべきかを考えていただくためと思います。「子どもは地域の宝」を合言葉に、「西根教育の村宣言」をして5年になります。学校、家庭、地域の連携が図られ、着実に成果が見え始めています。併せて分煙運動の推進、下水道早期実現等、環境に対する関心も確実に高まり、教育と文化、そして環境の充実に向けての地域づくりが進められております。

西根教育の村宣言

5年前「子どもたちの健全なる育

成を願い、地域が一つとなり皆が教育に関心をもって「いこう！」と宣言

されました。昨今の社会現象を表現すれば、「自由の勘違い症候群」であり、進む道を見失いつつある現状を危惧する一人であり、西根地区の取り組みは敬意を表するものであり、学ぶことが多いのではないだろうか。今年度、5周年記念大会が行われ、小・中・高生、成人の参加による意見発表、作品の展示、大会宣言と地域あげて意志の確認統一がなされました。5周年記念を機に、決意も新たに「あいいうえお運動」を起し、明るく住みよい地域づくり、心豊かな人づくりに子どもも大人も勇気をもって取り組もうとされています。



子供たちの未来に向かって

あいいうえお運動とは、
一、あかるくあたたかい家庭をつくれます
一、いのちの大切さを確認しみんな
で声をかけあいます
一、うつくしい環境を守り、安全で
住みよい地域をつくります
一、えがおで元気なあいさつをかわ
します
一、おもいやりといったわりの心を
持つて接します

運動を楽しめる地域に

西根地区は、市内で唯一独自に体育協会を持っており、さらに子どもから高齢者まで幅広い層の住民が、スポーツや多世代交流が楽しめる地域づくりを目指すため、(仮称)「西根ときめきスポーツクラブ」が2月に設立されます。活動は従来どおりですが、会員は地区外からも募る方針とのことです。地域スポーツの発進基地として幅広い活動を期待したいと思います。2月4日に、生涯プラザで日本人初のプロ卓球選手を迎え、設立記念講演会の予定となっています。日本人トップの技を目にすることに胸の「トキメキ」を覚えるのではないのでしょうか。

今から始めてみませんか

文化を育むのは、心の豊かさで努



健康が一番 パークゴルフで汗を流す

力であると聞いたことがあります。心の豊かさを求め、各種の教室が開催されている事にびっくりしました。一部を紹介します。

- 健美体操
- ふれあい民謡教室
- 虹の森けん玉塾
- 輪読会
- ヨガ教室
- 高校生ボランティアサークル
- リサイクルせっけんづくり教室
- 葉山学級学習会

等であります。
趣味の世界が無限に広がるのを感じます。これからも地域活動の発達地としてさわやかな西風を送ってください。

傍聴席



四ッ谷 小松 直行

初めての議会傍聴

なんとなく議会傍聴の雰囲気だけは分かっていましたが……。ちょうど長井市長選も終えたあとでしたので興味を持ち足を運びました。この日の傍聴者は記者の方二人と私一人だけで席がたくさん空いておりました。いつもこんな感じなのでしょうか。

私には子どもが3人おりますので、子どもの健全な育成の議題に非常に関心を抱きました。昨年から全国で多発しているいじめ、自殺の問題、子を持つ親としてはもちろん他人事ではありませんし、これを避ける為には、地域・学校・親が連携していくのは当然です。子どもからのサイン

も大人が気付いてあげなければいけません。子どもが大人に相談できる様な関係に育てていくことができれば、いじめの芽を摘み取ることができ、子どもの悩みも少なくなる事ができるのではないのでしょうか？

教育問題だけでなく、長井市には様々な問題が山積みだと思っています。とりわけ財政難というのは、以前からの重要問題なのではないかと思えます。先日の日経新聞の記事に、「自治体の財政健全度を計る指標としての実質公債費比率が、全国の市の中で長井市が、財政破綻した北海道の夕張市に次ぐワースト4位である」と書かれておりました。まさかこんな悪いとは……。本当に厳しい現状だということを改めて突き付けられた記事でありました。

これからは一人一人が自覚し、知恵を出し合い、元気な町に作り上げ、そして今後の長井市の再編を新市長に期待し、今年の干支でもある猪のように突進していただきたいと思っています。

3月	
定例	議会の
予	定

(開会は午前10時)

2・22(木) 告示

2・26(月) 議会運営委員会

3・1(木) 開会

3・6(火) 一般質問

3・7(水) 一般質問

3・8(木) 一般質問

3・9(金) 総務・文教常任委員会

3・12(月) 厚生常任委員会

3・13(火) 産業・建設常任委員会

3・14(水) 予算特別委員会

3・15(木) 予算特別委員会

3・19(月) 予算特別委員会

3・23(金) 閉会

◎正式な日程は、議会運営委員会で決定します。

議会傍聴に

お越しください

議場入り口で、氏名、住所を記入してお入りください。尚、議場へは庁舎東側階段をご利用ください。

※質問内容については市のホームページで事前にお知らせしています。

編集後記

昨年の豪雪とは打って変わって、穏やかな中に正月を迎えられた市民の皆様、新年のお祝いを申し上げます。

新聞やマスコミの報道では「いざなぎ」を超える景気拡大が続いているというのですが、残念ながら私達の住んでいる地域でそういった実感はほとんどありません。

私は、小学校時代に、太平洋沿いは「表日本」で、日本海沿いは「裏日本」と教えられた年代です。それが、景気でも明確に言い表わされ、如実に感じられます。変わっていないと感じますし、景気回復が本当に一部の地域や人達にしか実感できないとすればこれは全く不思議なことと言わなければなりません。日本国民がこぞって景気回復を実感できることこそ求められていると感じます。

本年が市民皆様にとって、より良い年となりますようお祈り申し上げます。



■編集委員

(◎委員長 ○副委員長)

高橋 孝夫 谷口 栄子 町田 義昭
○我妻 昇 ◎蒲生 光男 鈴木 武次